

論文内容についての著者申告

(1) 分野

論文の分野を表 1, 表 2 より選び, 記号でお示しください。( , )  
 専門分野一覧

表 1 加工法別分類 (分類 1)

A	材料試験
B	圧延 (板)
C	圧延 (線, 形材, 管など)
D	鍛造
E	押出し
F	引抜き
G	板材成形 (深絞り, 張り出し, 曲げ)
H	曲げ (形, 条材)
I	せん断加工
J	ロール成形
K	チューブフォーミング
L	回転加工 (転造, スピニング)
M	仕上げ, 矯正
N	高エネルギー速度加工
O	接合
P	粉体加工, 固化成形
Q	射出成形
R	半溶融・半凝固加工, 溶湯加工
S	インクリメンタルフォーミング
T	マイクロ加工
U	複合加工
V	新加工, 特殊加工
W	その他

表 2 要素技術別分類 (分類 2)

1	塑性理論	
2	解析技術	基礎理論, 解析モデル
3		数値シミュレーション
4		実験シミュレーション
5	材料	鉄鋼
6		非鉄金属
7		複合材料
8		超塑性材料
9		ガラス, 非晶質材料
10		プラスチック
11		セラミック
12		粉末材料
13		木材, 紙
14		新素材, 機能材料
15	その他材料	
16	加工特性	負荷/変形/破壊特性
17		材料特性, 材質改善, 結晶塑性
18		精度, 残留応力
19	トライボロジー	
20	工具・金型	工具・金型設計, CAD/CAM
21		工具材料, 表面処理
22	環境	
23	加工・生産システム	計測・制御
24		加工機械, システム
25		知能化技術
26	その他	

(2) 論文において主張される点を例に倣って箇条書きでお示しください。

(2-1) 新規性

(例 1) ○○理論に対して, 従来考慮されていなかった○○を付け加えることによって, 新たに○○までに適用範囲を拡張した。

(例 2) 新たに○○法を提案し, 実施することにより, 00以上の○○率を達成できた。

- (1) \_\_\_\_\_
- (2) \_\_\_\_\_
- (3) \_\_\_\_\_

(2-2) 工学的もしくは工業的有用性

(例 1) ○○プロセスに新たに○○センサーを付け加え, 加工制御することにより, ○○精度を○○以上とし, ○○にも本プロセスが適用可能となった。

(例 2) 本シミュレーションの提案により, 従来行われていた○○試験を省略できるようになった。

- (1) \_\_\_\_\_
- (2) \_\_\_\_\_
- (3) \_\_\_\_\_